

宮城大学 後援会報

Vol.53

発行
令和元年8月30日

発行者
〒981-3298
宮城県黒川郡大和町学苑1-1
宮城大学後援会
TEL022(377)8381
編集
宮城大学後援会事務局

後援会主催事業 「MYUサポーターズデイ」開催

見て、聴いて、 知ることができた時間

6月8日(土)に大和キャンパス、6月15日(土)に太白キャンパスで、「MYUサポーターズデイ」を行いました。

模擬講義で、普段学生達がどんな講義を受けているのかプチ体験しました。学群紹介で学生達が具体的にどのような学びをしているかを知り、就職状況の説明では、単なる宮城大学生の就職率にとどまらず今の社会状況から対策まで詳しいレクチャーを受けました。キャンパスツアーでは学生のガイドつきでキャンパス内を見学し、懇談会では、ティーパーティー形式で教職員と歓談しました。希望すれば個別相談することもできます。

高校までと違い、大学と親の接点はほとんどありませんが、これに参加すれば、大学の教育環境を知ることができ、学生生活や就職についてどのように子供にアドバイスしたら良いかなどのヒントを得ることもできます。アンケートでは、「模擬講義が楽しかった」「カリキュラムの内容が理解できて良かった」「教授と直接話せて良かった」「大学で子供がどのように過ごしているか様子がわかって良かった」などの感想をいただきました。毎年開催しておりますので、来年も多くの方に参加していただきたいと思っております。

また、今年の懇談会では、食産業学群の学生と白石食品工業(株)様が共同で開発した、ずんだちぎりパンとチョコバナナパフェケーキをふるまい大好評でした。(P.4で紹介)

11月には講演会も開催しますのでこちらにもぜひご参加ください。お待ちしております！
(後援会副会長 高橋明子)



▲学生による学類紹介(事業構想)



▲模擬講義「地域における看護について」(看護)



▲キャンパスツアーで研究室へ(太白)



▲太白キャンパスの懇談会会場

新体制で活動スタート

第11代会長に佐藤功太郎氏

― 大学とは連携を、
学生にはきめ細やかな支援を ―

後援会会長 佐藤功太郎



平成31年4月の総会で後援会会長を務めさせていただくことになり、その後元号が変わり、令和という新しい時代がスタートしましたが、早いもので、4ヶ月が経過いたしました。後援会では、これまで、会員の皆さまに大学の取り組み等への理解を深めていただくためのイベントとして、MYUサポーターズデイを大和キャンパス及び太白キャンパスで開催させていただきました。

後援会では、学生が充実した大学生活を送ることができるよう、学生会、サークル、学園祭等の学生活動の支援を行うとともに、自主事業として、会員、大学、地域の皆様等を対象に著名人等を招き講演会を開催するという活動を行っております。

現在大学では、今後進行する超高齢化、人口減少社会、AIの進化及びIoTの更なる普及等、大きく変化していく環境に対応する人材を育成するための、大学改革が着実に進んでおります。このような中で、後援会といえどもでは、大学としっかりと連携を密にし、どのような支援ができるのか、理事会の中で十分議論しながら適切な支援を行っていく必要があると考えております。

このことに合わせ、今後も大学で対応が難しい細かな部分も含め、学生の意見を聴きながらきめ細かな支援を行っていきたく考えておりますので、これからも会員皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

平成31年度・令和元年度役員

1年間どうぞよろしくお願いいたします
(敬称略)

役職	氏名
会長	佐藤 功太郎
副会長	佐竹 加代子
〃	関 孝 子
〃	高岩 橋 明 浩
理事	〃 遠 藤 雄 二
〃	〃 大野 健 一
〃	〃 大木 口 幸 雄
〃	〃 小林 英 樹
〃	〃 佐藤 周 二
〃	〃 山下 誠 誠
〃	〃 鈴 木 篤 彦
〃	〃 武 田 篤 彦
〃	〃 長岡 勢 子
〃	〃 福 士 明 嘉
監事	〃 沖 野 佳 秀
〃	〃 下 山 晴 朗
〃	〃 千 葉 清 純

記事一覧

2面 ● H31年度入学式、H31年度入学者選抜試験実施状況、後援会事業計画・報告、予算・決算
3面 ● 学長あいさつ、新入生交流事業

4面 ● コラム、学びの成果
5面 ● サークル紹介、絆、コモンズ整備状況
6面 ● H30年度卒業式、卒業生の進路、20周年記念助成事業

7面 ● キャンパスカレンダー、主催事業講演会
8面 ● 教員から一言、H30年度学生表彰、大学からのお知らせ

平成31年度 宮城大学入学式

3つの時間軸を意識した学びを

4月3日、平成31年度宮城大学入学式が東京エレクトロンホール宮城にて行われました。式典には、来賓、家族、教員ら大勢が参加し、新入生を祝福しました。

今年度の入学生は、看護学群100人、事業構想学群215人、食産業学群135人、看護学研究科7人、事業構想学研究科10人、食産業学研究科11人の計478人です。

式典に先がけて、大和キャンパスの娘すずめ。サークルによる演舞がホール内で披露され、後輩となる新入生を歓迎しました。

式辞において、川上伸昭学長は入学生に対し、社会は今、直面する複雑な課題に対する解決の道筋を求める時代となっていることに触れたうえで、「皆さんにはこれから学生生活で学修の進展とともに、現実の課題を目前に、その解決策をデザインするという実践的な教育を受けてもらうこととなります。(中略)今学んでいることについて、その知識が生み出された過去、そしてその知識を学ぶ現在、さらに、それを時代の变化に合せてさらに開発していく未来、という3つの時間軸を意識して、得た知識が過去のものとどまらず、生涯にわたる学びに際し、応用できるものにしていくべきものにしていく」とメッセージを送りました。



▲緊張した面持ちの新入生

平成31年度入学 宮城大学入学者選抜試験実施状況

学 群	募集人員	実質競争倍率	入学者数	入学者詳細					
				性別		出身校			
				男	女	県内	県外	その他	
看護	95	2.8	100	7	93	72	28	0	
事業構想	200	2.3	215	84	131	154	55	6	
食産業	125	2.2	135	42	93	61	71	3	
合計	420	2.4	450	133	317	287	154	9	

※出身校は、卒業高校等所在地で分類（外国人留学生はその他に分類）

平成31年度入学 宮城大学大学院入学者選抜試験実施状況

研究科	募集人員	実質競争倍率	入学者数	入学者詳細	
				性別	
				男性	女性
看護学研究科博士前期課程	10	1.2	6	3	3
看護学研究科博士後期課程	3	3.0	1	0	1
事業構想学研究科博士前期課程	20	1.0	8	7	1
事業構想学研究科博士後期課程	3	1.0	2	1	1
食産業学研究科博士前期課程	13	1.0	8	4	4
食産業学研究科博士後期課程	3	1.0	3	2	1
合計	52	1.1	28	17	11

平成31年4月 後援会総会決議事項（事業・予算関係）

平成31年度・令和元年度事業計画	
	内 容
総会	4月3日
理事会	年6回
特別委員会	学生代表との意見交換会（キャンパス毎） 会長副会長会議年2回
学生会活動助成	執行部、新入生歓迎会、サークル、大学祭、ガーデンキャンパス 資格取得奨励金支給 体育・文化活動に対する奨励金支給 進路対策事業支援
支援事業	留學生住宅総合補償金一部助成 20周年記念事業【大学支援事業等】
入学記念事業	新入生へ記念品（校章ピンバッジ）配付
卒業記念事業	卒業生（学部生）へ記念品配付 卒業記念パーティー費用助成
主催事業	MYU サポーターズデイ（キャンパス毎） 講演会
終身会員の集い	第2回
会報発行	第53・54号

平成31年度・令和元年度一般会計予算		
項 目	予算額	備 考
会費	17,400,000	新入生・編入生・終身会員
雑収入	0	
取 寄付金	0	
入 繰越金	2,971,391	
他会計繰入金	0	
計	20,371,391	
事務費	2,870,000	人件費、通信費等
会議費	350,000	理事会・特別委員会経費
事業費	12,986,000	大学祭、サークル助成等
支 入学記念事業費	396,000	入学記念品（校章ピンバッジ）
出 卒業記念積立金	2,150,000	卒業生記念品
記念事業等積立金	1,200,000	
予備費	419,391	
計	20,371,391	

平成31年度・令和元年度特別会計予算		
(卒業記念事業積立金)		
項 目	予算額	備 考
取 積立金	2,150,000	入学生430人×5,000円(一般会計より)
入 繰越金	6,694,744	
計	8,844,744	
支 事業費	1,582,000	学生への記念品 他
卒業記念事業積立金	7,262,744	
一般会計繰出金	0	
出 予備費	0	
計	8,844,744	
(記念事業等積立金)		
項 目	予算額	備 考
取 積立金	1,200,000	一般会計より
入 繰越金	11,487,435	
計	12,687,435	
支 事業費	3,000,000	20周年記念事業費(大学支援事業)
事務費	100,000	終身会員の集い
記念事業等積立金	9,587,435	
出 予備費	0	
計	12,687,435	

平成30年度事業報告	
	内 容
総会	4月3日
理事会	年6回
特別委員会	会長副会長会議3回 学生代表との意見交換会2回(各キャンパス毎) 20周年記念事業（編集委員会10回） 大学支援検討委員会(2回)
学生会活動助成	学生会(執行部、新入生歓迎会、サークル、大学祭、ガーデンキャンパス) サッカーサークル全国大会出場 報奨金・特別支援金支給 資格取得奨励金支給 看護学部キャリア開発支援(国家試験対策模試解説会等8回) 事業構想学部キャリア開発支援(自己分析等診断) 食産業学部キャリア開発支援(合同業界研究セミナー) 事業構想・食産業学部キャリア開発支援(合同業界研究セミナー) 留學生住宅総合補償金一部助成
支援事業	留學生住宅総合補償金一部助成
入学記念事業	新入生へ記念品(校章ピンバッジ)配付
卒業記念事業	卒業生(学部生)へ記念品(ネーム印)配布 卒業記念パーティー費用助成
主催事業	MYU サポーターズデイ(各キャンパス毎開催) 「林家たい平氏講演」
終身会員の集い	大和スチューデントcommons設置家具一式贈呈
20周年記念事業	公務員試験対策支援(書籍購入・試験対策セミナー) 20周年記念誌「息吹」発行
会報発行	第1回開催 第51・52号

平成30年度一般会計決算		
項 目	決算額	備 考
会費	17,580,000	新入生・編入生・終身会員
雑収入	0	
取 寄付金	0	
入 繰越金	3,447,395	
他会計繰入金	0	
計	21,027,395	
事務費	2,678,590	人件費、通信費等
会議費	441,380	理事会費用弁償費等
事業費	10,301,960	大学祭、サークル助成等
支 入学記念事業費	377,244	校章ピンバッジ配布
出 卒業記念積立金	2,175,000	卒業生記念品
記念事業等積立金	2,000,000	
予備費	81,830	終身会員の集い
計	18,056,004	

平成30年度特別会計決算		
(卒業記念事業積立金)		
項 目	決算額	備 考
取 積立金	2,175,000	入学生435人×5,000円(一般会計より)
入 繰越金	6,000,244	
計	8,175,244	
支 事業費	1,480,500	学生への記念品
卒業記念事業積立金	6,694,744	
一般会計繰出し金	0	
出 繰越金	0	
計	8,175,244	
(記念事業等積立金)		
項 目	決算額	備 考
取 積立金	2,000,000	一般会計より
雑収入	0	
入 繰越金	13,384,384	
計	15,384,384	
支 事業費	3,896,949	20周年記念事業費(大和スチューデントcommons家具一式・記念誌等)
記念事業等積立金	11,487,435	
出 繰越金	0	
計	15,384,384	

後援会のみなさまには、日頃より、大学の活動をご理解いただき、ご支援をいただいておりますことについて、この場を借りて御礼を申し上げます。

さて、毎年、後援会会報に文章を載せていただいておりますが、今年、最近のあまり知られていない話題をお届けすることにします。

昨年度末、私たちは、公立大学法人宮城大学基本規則を改正し、大学の理念を再定義しました。この基本規則は本学開学から11年を経た2009年の法人化に際して制定されたもので、その第5条に「法人の大学理念」という形で規定が設けられていました。歴史を紐解いてみると、基本規則が設けられるまでの宮城大学には明確に固定された理念は見受けられず、いわば、学長がそれを体現するという傾向が見てとれる状況でした。このため、振り返ってみると、規則制定時に、当時の馬渡尚憲学長が中心となって、それまでの考えを何とかまとめようとされたものでした。

そこに規定された理念は、順に、「精神」、「使命」、「方針」という3項目に分けて記述されてきました。この3項目は、組織の行動原理を読み解くうえで上位の概念から下位へと展開していくように構成されていると見えるのですが、これらの項目に示された具体的な規定は、それぞれ、「ホスピタリティとアメニティ」、「高度な実学による地域貢献」、「地域に根差し世界に開かれた大学」とされ、どちらかというと行動方針



「開学以来の本学の精神は現在も色褪せず」

川上 伸昭 公立大学法人宮城大学理事長兼学長

が3点併記されていると理解されるものでした。すなわち、縦の論理の流れと横への論理の展開が混在した複雑な構造をしたものであったわけですね。

そこで、徳永幸之副学長（当時）を中心に、野田一夫初代学長時代まで遡って大学の理念に関する記録の調査をして、整理を試みました。その結果得られたのが改正後のものです。

まず、大学理念の上位に「建学の精神」を置くこととして、それを、「快い生活環境（アメニティ）に身を置き、心温まる人間関係（ホスピタリティ）に囲まれていることは成熟社会に生きる万人の願いであり、このような地域社会を実現させるために『ホスピタリティとアメニティの究明と実現』を目指す。」とし、続いて「大学の理念」を、「高度な実学に基づき、豊かな人間性、高度な専門性及び確かな実践力を身につけ、グローバルな視点で地域社会の発展に貢献できる人材を育成するとともに、学術・文化の向上と豊かで活力のある地域社会の形成に寄与する。」と規定しました。

「成熟社会」と「グローバル」という2つの言葉は23年前の社会では今ほどには強く意識されていなかったと思われ、多少、現代的な翻訳が混じったものにはなりましたが、開学以来の本学の精神は現在も色褪せず、むしろ、他の大学の魁を行く内容であったと再確認をしたところです。本作業を通して、心構えを新たにし、大学の運営に取り組んでまいりますので、引き続きご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

新入生交流事業

「コンボケーションデー」春

「交流と理解」の

先に見えたもの

平成31年4月13日（土）、新入生428人が大和キャンパスに集合し、コンボケーションデーが行われました。

コンボケーションデーとは、2つのキャンパス、異なる3学群に所属する新入生が交流する、春と秋に開催される企画です。

春の回は、「他者との交流・他者理解」をテーマに、バラスポーツであるブラインドサッカーを通じて、他者を思いやり支え合うことや、声かけによるコミュニケーションの重要性を体験するプログラムを実施しました。

午前中は、ブラインドサッカー日本代表主将らによるパネルディスカッションを聴講、また、3学群混成のチームに分かれて大和キャンパス探検ラリーを行いました。午後は、日本代表選手らによるブラインドサッカー実技披露の見学や、専用のボールやアイマスクを使ったレクリエーション、白杖とアイマスクを使った歩行体験などに取り組みました。

参加した学生からは、「障害の有無に関わらずお互いに支え合ったり、困っている人に自然と手を差し伸べられる社会になっていいね」と

「声をかけてできることを積極的にお手伝いしていきたいと思った」「支えてくれる人の存在の大きさを感じた」「普段から周りをよく見て配慮した行動をとる必要があると思った」などの感想が寄せられました。

（学務課）



コンボケーションデーのリーフレットが閲覧できます。 <http://www.myu.ac.jp/campus/news/1388/>

「Enchanted～魔法にかけられて？」

基盤教育群講師 佐藤 麗

外国語習得については数多くの伝説がある。一定時間、外国語に囲まれて過ごせば、ある日突然喋れるようになる、というのも、その類であろう。しかし、学校教育の一環として、数年かけて外国語を学ぶ場合、そういった実感を得るのは難しいかもしれない。

私は大学卒業後、カナダのケベックシティに一年間住んだ。ケベックシティはフランス語を公用語とするケベック州都で、住人の殆どは英語を解さない。私のフランス語のレベルでは、当初人々と意思の疎通を図るのも困難であった。実際、ある日アパートの隣人が料理に使うボウルを借りに来た際も、彼女が何を欲しているのか、全く理解出来なかった。その時は彼女の身振り手振りで意を通ずる事が出来たが、こちらのフランス語も向こうの英語も同じく壊滅的だったため、大分時間がかかったのを覚えている。

その半年後。私は年末休暇で帰国すべく、空港に向かわんとしていた。その時、件の隣人と鉢合わせた。

顔を合わせるの半年ぶりだったが、彼女は気安く言葉をかけてきた。私のフランス語が下手くそなことを忘れていたのだろう。しかし、私は彼女の質問にフランス語で返

答することが出来た。それも、ばらばらの単語で返すのではなく、きちんとした文章でもって応えたのだ。

その時の興奮といったら大変なものだった。彼女と別れた後も、叫び出しそうになっては、何度か口元を押さえた程だった。

それは半年の内に少しずつ起こった変化の結実ではあったが、当の私にしてみれば、まるで、一夜にして起こった魔法のように感じられたのだ。

それ以降、私はずっと、その時の興奮を追い求めているような気がしてならない。あの、圧倒的な喜びをもう一度この身に感じたいと願い、外国語に携わっているのだ。



▲愛犬と一緒に！

(さとう うらら)

宮城県内の企業を対象に英会話・英語資格試験準備・海外赴任直前コースを教えた他、県内の他大学で資格試験準備の集中コースを教えた経験がある。宮城大学では主にリーディングクラスを担当し、文章の字面を追うだけでなく、深い内容まで考える授業を目指すと同時に、英語を使って様々なトピックについて話せるようになるためのアクティビティにも力を入れている。

学びの成果

食品マーケティング戦略演習Ⅰ

～シライシパン×宮城大学～ ずんだちぎりパン・チョコバナナパフェケーキ

食産業学群准教授 谷口葉子



昨年度後期に開講した「食品マーケティング戦略演習Ⅰ」にて、白石食品工業株式会社(以下、シライシパン)の協力を得て「東北を元気にする袋パンの開発」をミッションに商品企画を行いました。

授業では28人の学生が6チームに分かれて、マーケティング論を振り返りながら、市場環境分析からターゲットの選定、商品コンセプトの設定、4P戦略(製品、価格、流通、プロモーション)の検討まで行い、最後に発表会を開いて各チームの企画内容を競いました。シライシパンの商品開発チームの方に検討していただいた結果、「笑顔のシェア」を



▲実習の成果に自信と笑顔

コンセプトとする「ずんだちぎりパン」、「いつでもどこでも携帯できるパフェ」をコンセプトとする「チョコバナナパフェケーキ」の2商品を実際に製造し、販売

していただけることになりました。商品は今年の6～7月の2か月間にわたって、東北6県のスーパー等で販売され、多くの方に味わっていただくことができました。



▲笑顔でPR

地元企業の協力を得て実践的にマーケティングを学ぶ本授業は学生からも好評を得ています。昨年参加した学生からも、「実際に商品化できて達成感が大きかった」「自由度が高く楽しく作業できた」といった声が聞かれました。授業期間が終わってからも試作品の検討や販促活動などに熱心に協力してくれる学生の前向きな姿勢に大変感心させられました。

今後もよい学びの場となるよう、工夫を重ねていきたいと思えます。

着々と進むCOMONS整備

宮城大学では、大学改革の一環として平成29年度より学生が主体的に学ぶ空間としてラーニングCOMONSの整備を進めており、大和キャンパスではスチューデントCOMONS、ディスカバリーCOMONS、グローバルCOMONSに続き、データ&メディアCOMONSの整備が完了しました。

データ&メディアCOMONSは「オープスタディ」、「デジタルリサーチ」、「メディアシアター」、「サポートオフィス」の4つで構成され、このうち「メディアシアター」では、最新の4K対応プロジェクター、200インチスクリーン及び5.1chサラウンドシステム等を導入し、学生の映像・音響作品の発表やプレゼンテーションを行うだけでなく、多様かつ実践的なICT技術の修得を目的とした施設となっています。

太白キャンパスでもこれら4つのCOMONSの整備が進んでおり、今年度から研究棟1階図書館前の空間にディスカバリーCOMONSが、その吹き抜けから2階を見上げたところにグローバルCOMONSが開設されました。両COMONSとも多くの学生が利用し始め、新しい時代の学びの雰囲気満たされた空間になっています。

残りの2つのCOMONSは旧宮農短大の建物を改築した講義棟に設置を計画しています。この講義棟はほぼ半世紀前の基本設計ですが現代の若者の感性にマッチするように内装に工夫を凝らし整備してまいります。

(COMONS運営室)



▲最先端の技術を体感できる「データ&メディアCOMONS」(大和)



▲「ディスカバリーCOMONS」(太白) 正面奥には図書館

すずめ踊りサークル「娘すずめ。」

看護学群看護学類3年 小坂 深幸

もっというい演舞を ~ 基礎から学びなおして受賞した喜び

私たちは宮城大学すずめ踊りサークル「娘すずめ。」です。結成当初は女性メンバーが多かったためサークル名に「娘」と入っていますが、現在は男性メンバーも増え、現在は総勢121人でフレッシュな祭連として仲良く元気に活動しています。

私たちは5月に開催される仙台青葉まつりに結成当初から毎年参加しており、今年の仙台青葉まつりではすずめ学園天国で若大賞をいただきました。娘すずめ。が若大賞を受賞するのは7年ぶりで、娘すずめ。の名前が呼ばれたときは全員が歓喜に沸きました。

娘すずめ。は昨年、若大賞を目指して参加したすずめ学園天国でマタアイマ賞を受賞し悔しい思いをしました。それから、どうすればもっというい演舞ができるのかということを中心に議論を重ね、昨年の9月に講師の方を迎え、踊り手もお囃子もすずめ踊りの基礎から学びなおしました。今年の4月、青葉まつりに向けた一番最初の練習で4年生の振付師から今年は賞を狙っていきたくてと伝えられ、すずめ踊りの基本に沿いながらも娘すずめ。らしさを表現できるように練習に取り組みました。練習時間はお互いに教え合い、休憩時間にはたわいもない話で盛り上がるなど楽しい時間を過ごし、笑顔が絶えない練習だったと思います。最後の練習日は決起会を行い団結を高めました。当日は緊張しながらも待機場所ではみんな笑顔で演舞の最後まで笑顔が絶えませんでした。そして念願の若大賞を受賞し、今年で青葉まつりに参加するのは最後になってしまう4年生のみなさんのすずめ踊りに対する熱い思いが報われた瞬間だと思いました。うれし涙を流している人も多く、私自身も賞状を受け取る4年生振付師をみて目頭が熱くなりました。

娘すずめ。の活動を通してたくさんの貴重な経験をさせていただいています。娘すずめ。を支えてくださる沢山の方々に感謝しながらこれまで以上に活動に力を入れていきたいと思っています！



▲華麗に舞う「娘すずめ。」

絆

No.22

私にとっては、ここは帰る場所だった。

事業構想学群講師(事業計画学科平成15年度卒) 高山 純人

在校生、卒業生、教職員など、さまざまな立場で宮城大学に関わっている方から寄せられた思いでつなぐ「絆」。今回は宮城大学の卒業生であり現在、事業構想学群講師の高山純人先生です。高山先生が胸に響いた言葉、それは…。学生時代を振り返りながらお話しいただきました。

私は楽しくて仕方なかった。学長はいつものように学生たちと談笑し、その周りにまた学生が集まってくる。毎日のように研究室に顔を出す学生を、先生方は面白がって研究室に招き入れてくださり、生きるための知恵をまた一つ増やしてくれる。いつも馬鹿騒ぎを夜中まで続ける友達もいれば、バイトが終わってからみんなで集まり、新しいビジネスについて議論する仲間もいる。親の仕事を既に手伝っているやつもいれば、自分で会社を立ち上げるやつもいる。どんなに時間が遅くても大学に行く、誰かはレポートや課題のために泊まり込んでいる。私にとっては学び舎であり、帰る場所。宮城大学はそんな存在だった。



▲笑顔のゼミ生の真ん中に高山先生

ある日、私は学長にこんなことを問われた。「成功の反対は、何だと思うかね?」と。私は失敗と答えると、学長はこうおっしゃった。「君は卵焼きを焦がしてしまったら、次は火を弱くするだろう?それで火が弱

くてぐちゃぐちゃになってしまつたら、少し火を強くするだろう?それは成功に近づいていないかね?」考え込む私に、学長は続けて言った。「最初に焦がしてしまつた時にやめてしまつたら、それは確かに失敗だ。でも、次にまた挑戦すれば、失敗は経験に変わる。挑戦を続けられれば失敗では終わらない。では、成功の反対とは何か。それは、そこで立ち止まってしまうこと、何もしないことなんだよ。」

私は大学4年の6月よりベンチャー企業で働き始め、多くの失敗を重ねたものの、様々な実績を積んでやりたい仕事を出来るようになったのは、この学びを胸に、挑戦し続けたからに他ならない。そしてその経験を、多くの若者に伝えなければならぬ。

2018年4月、私は宮城大学事業構想学群に赴任した。自然に恵まれた環境、荘厳な大階段、そしてこの匂い。そう、私はこの大学に帰ってきたのだ。

456人の門出を祝う

平成31年3月19日、平成30年度宮城大学卒業証書・学位記授与式が、大和キャンパス講堂で行われました。

卒業・修了を迎えたのは、学部生423人、大学院生33人の計456人です。

川上伸昭学長は式辞で「震災の記憶を風化させることなく、苦難の経験を糧に、皆さん方一人ひとりが個人の幸福の達成と社会の持続的な発展に貢献していくよう活動することを期待しています」と、前途ある旅立ちの日を祝い、応援のメッセージを贈りました。

卒業生・修了生を代表して、看護学部看護学科の佐藤遥香さんと、事業構想学研究科のブバカルソウさんは、これまで支えてくださった先生方、地域の方々、家族に対する感謝の気持ちと卒業・修了後の決意を述べました。

式典には多くの来賓や家族も出席し、卒業生・修了生の新しい門出を祝福しました。

(学務課)



▲感謝の気持ちを伝える卒業生



▲卒業式～新たな始まりへ～

平成30年度 卒業生の進路(主な進路実績)

看護学部

看護学科

●就職先一例(順不同)

東北大学病院/東北公済病院/仙台オープン病院/宮城県立こども病院/公立黒川病院/仙台厚生病院/国見台病院/JCHO仙台病院/国立病院機構仙台医療センター/仙台市立病院/東北福祉大学せんだいホスピタル/東北労災病院/松田会/宮城県看護協会訪問看護ステーション/宮城厚生協会/昭和大学附属病院/日本医科大学病院/国立国際医療研究センター/東邦大学医療センター大森病院/国立がん研究センター中央病院/国立成育医療研究センター/虎の門病院/武蔵野赤十字病院/仙台市(保健師/養護教諭)/石巻市(保健師)/加美町(保健師)/福島県(養護教諭)/いわき市(保健師)/郡山市(保健師)/宮城交通(株)(保健師)

●進学先一例(順不同)

日本赤十字看護大学大学院修士課程国際保健助産学専攻

事業構想学部

事業計画学科

●就職先一例(順不同)

(株)SCSK/(株)NTTデータビジネスシステム/(株)NTTdocomo/NTT東日本(株)/(株)マクロミル/(株)リクルート/楽天(株)/(株)七十七銀行/(株)仙台銀行/(株)山形銀行/大和証券(株)/あいおいニッセイ同和損害保険(株)/損害保険ジャパン日本興亜(株)/東京海上日動火災保険(株)/三井住友海上火災保険(株)/明治安田生命保険相互会社/イオンリテール(株)/カメイ(株)/(株)ローソン/東京エレクトロン(株)/凸版印刷(株)/トヨタ自動車東日本(株)/バイオニア(株)/宮城県/仙台市/石巻市/多賀城市/大和町/(株)読売広告社/東北電力(株)/(株)USEN-NEXT HOLDINGS/三機工業(株)/(株)ユアテック/三井不動産リアルティ東北(株)/スターバックスコーヒージャパン(株)

デザイン情報学科

●就職先一例(順不同)

(株)一栄工務店仙台/セキスイハイム東北(株)/(株)積水ハウス/(株)北洲/(株)ピーエス三菱/テクノ・マインド(株)/(株)日立ソリューションズ東日本/(株)メンバーズ/NECファシリティーズ(株)/(株)NTTファシリティーズ東北/(株)第一広告社/(株)東急設計コンサルタント/(株)アルプス技研/(株)JTB/(株)LIXIL ADVANCED SHOW/イオンリテール(株)/(株)東京インテリア家具/宮城日産自動車(株)/国家一般(東北財務局)/宮城県/仙台市/大和町/(株)七十七銀行/(株)仙台銀行/(独)住宅金融支援機構/損害保険ジャパン日本興亜(株)/トヨタ自動車東日本(株)/(独)UR都市機構/野村不動産パートナーズ(株)/宮城交通(株)

●進学先一例(順不同)

宮城大学大学院事業構想学研究所/首都大学東京大学院都市環境科学研究科/筑波大学院人間総合科学研究科/東北大学大学院法学研究科

食産業学部

ファームビジネス学科・環境システム学科

●就職先一例(順不同)

(株)ヤヨイサンフーズ/スターゼン(株)/住商アグリビジネス(株)/日東ベスト(株)/(株)パールライス宮城/カメイ(株)/みやぎ生活協同組合/ヤンマーアグリジャパン(株)/(公社)日本食肉格付協会/森永酪農販売(株)/(株)シムコ/中村農園(自営業)/古川信用組合/(株)七十七銀行/東京海上日動火災保険(株)/JA全農北日本くみあい飼料(株)/なんと農業協同組合/はが野農業協同組合/宮城県(農業)/北上市/東北農政局/(株)三陸新報/(株)アイエスエフネット/アース環境サービス(株)/三国屋建設コンサルタント(株)/(株)カナダイ

●進学先一例(順不同)

宮城大学大学院食産業学研究所/東京農工大学大学院農学府生物生産科学専攻

フードビジネス学科

●就職先一例(順不同)

一正蒲鉾(株)/伊藤ハムデリー(株)/(株)鐘崎/(株)菓匠三全/(株)佐浦/(株)にしき食品/(株)原田・ガトーフェスタハラダ/(株)ヤマダフーズ/(株)ヤヨイサンフーズ/太子食品工業(株)/日東ベスト(株)/日本食研(株)/青木フルーツホールディングス(株)/(株)ファミリーマート/(株)ユニバース/国分東北(株)/三井食品(株)/(株)マルハニチロ物流/ジェイティ物流(株)/(株)七十七銀行/三谷産業(株)/ヤマトシステム開発(株)/仙台農業協同組合/JA東日本くみあい飼料(株)/(株)メタジェン/(株)Global Assist/クラブツーリズム(株)/(株)ジェイテック

●進学先一例(順不同)

宮城大学大学院食産業学研究所

20周年記念助成事業 「公務員試験対策助成」の成果

後援会20周年記念助成事業として、平成28年度から平成30年度まで大学の公務員試験対策支援事業を助成してまいりました。助成期間中には、「自己学習支援」として公務員試験対策の関連書籍の設置、「講座・指導支援」として外部講師を招き教養試験対策講座や専門試験対策講座が実施されました。

学生の就職活動を支援している、宮城大学キャリア・インターンシップセンターからは、体系的な「講座・指導支援」のプログラムが構築できたこと、公務員を目指した学生のうち

約7割が本支援を活用していたことは大きな成果であったこと、今後は進路希望者の動向を把握しながら、より多くの学生が自身の希望する進路に歩めるよう支援していきたいとの報告がありました。

宮城大学では、学生のキャリア教育とインターンシップ支援を一元的に行い、将来の進路へ向けて学生が自分のキャリアを自ら形成できる充実したサポートを提供しております。

<http://www.myu.ac.jp/employment/cic/>

平成30年度 卒業記念事業

卒業生へ記念品(シャチハタネーム印)の贈呈と、謝恩会費用の一部を助成しました。



平成31年度・令和元年度MYU キャンパスカレンダー

平成31年

4月

- 1日(月) 春季休業(～4/7)
- 3日(水) 入学式・後援会総会
- 8日(月) 前期授業開始
- 13日(土) コンボケーション・デイ

令和元年

5月

- 1日(水) 開学記念日(休業日)

6月

- 8日(土) 後援会主催事業
「MYUサポーターズデイ」(大和)
- 15日(土) 後援会主催事業
「MYUサポーターズデイ」(太白)

7月

- 15日(祝月) オープンキャンパス(大和)
- 21日(日) オープンキャンパス(太白)
- 31日(水) 前期定期試験(～8/6)

8月

- 7日(水) 夏季休業開始(～9/19)
- 13日(火) 教職員夏季休暇(～8/19)

9月

- 17日(火) 入試日(大学院)
- 18日(水) 卒業式・学位記授与式(9月卒業分)
- 19日(木) コンボケーション・デイ
- 20日(金) 後期授業開始

10月

- 5日(土) 大学祭(～10/6太白)
- 13日(日) 大学祭(～10/14大和)
- 19日(土) 入試日(AO入試)(～10/20)

11月

- 9日(土) 後援会主催事業
「結城登美雄氏講演会」(民俗研究家)

12月

- 7日(土) 入試日(帰国子女・社会人・外国人留学生)
- 25日(水) 冬季休業開始(～1/6)
- 28日(土) 教職員冬季休業(1/5)

令和2年

1月

- 18日(土) 大学入試センター試験(～1/19)
- 27日(月) 後期定期試験(～1/31)

2月

- 1日(土) 入試日(推薦入試)
- 25日(火) 入試日(一般選抜前期)(～2/26)

3月

- 12日(木) 入試日(一般選抜後期)(～3/13)
- 19日(木) 卒業式・学位記授与式

■ 2019年度オープンキャンパス

多くの高校生で賑わいました！

7月15日(月)に大和キャンパス、7月21日(日)に太白キャンパスで恒例のオープンキャンパスが開催されました。

オープンキャンパスは、主に宮城大学への入学志望者や宮城大学に関心のある高校生を対象として、大学を一般開放し、模擬講義や教育研究内容の紹介、現役生との交流などを通して、「宮城大学ってこんなところ」について知って触れてもらうことを目的としています。

おかげさまで今年度も大和・太白両キャンパス合わせて約3,300人(速報値)の方にご来場いただき、盛況のうちに終了しました。一方で運営面での課題もいくつかありましたので、より多くの来場者に満足いただけるオープンキャンパスになるよう教職員一同引き続き取り組んでまいります。

(企画・入試課)



▲来場者で席がいっぱいのガイダンス(上)と模擬講義(下)

■ 学祭2019、皆さまのご来場お待ちしております！

太白キャンパス —10月5日・6日開催

今年のテーマは「オクトーバーフェスト」。装飾や実行委員の服装をドイツのオクトーバーフェストをイメージしたもので皆様をお迎えします。また、我々独自の学部・学群である「食産業」をアピールできるよう、宮城大学ならではの美味しい食事が楽しめる29店舗もの出店を用意しております。そのほか、イベントステージでは太白キャンパスのミス・ミスターを決めるコンテストや太白キャンパスのフードファイターを決めるトーナメント、人気お笑い芸人「EXIT」「レインボー」を招いた爆笑必至のお笑いステージが行われます。賑やかな雰囲気と共にぜひ楽しんでください。皆様のお越しを委員一同、心よりお待ちしております。(太白キャンパス大学祭実行委員長 フードマネジメント学類2年 古本史也)



大和キャンパス —10月13日・14日開催

今年のテーマは「MYU知との遭遇」。大学祭に来てくれたお客様を未知なる宇宙の世界へとお連れ致します。毎年恒例のトランポリンや巨大迷路、花火だけでなく、昨年大人気だった縁日企画を、さらなる超豪華景品を用意して今年も開催します！さらに今年のテーマに合わせた新たな宇宙企画も多数ご用意しており、大人からお子様まで楽しめる企画が盛りだくさんとなっております。もちろんゲストもお呼びしておりますよ！美味しい料理が出揃う露店に囲まれたステージで一緒に盛り上がりましょう！皆様のお越しを委員一同、心よりお待ちしております。(大和キャンパス大学祭実行委員長 価値創造デザイン学類2年 善波 幹喜)



■ 後援会主催事業「講演会」

民俗研究家 結城登美雄氏を招き、講演と本学教員とのパネルディスカッションを開催します。

恒例となっております、主催事業「講演会」には講師に仙台市泉区在住の民俗研究家の結城登美雄氏を招き、第1部で結城氏の講演、第2部で宮城大学教員とのパネルディスカッションを開催いたします。

第1部では「命をつなぐ」と題して講演いただき、第2部では宮城大学の学生・教職員の英知を活かし「人に、地域に」宮城大学は何を担うことができるのか、何を期待されているのかを「宮城学」と命名し討論いただきます。

9月下旬頃に改めてご案内いたしますので、是非ご参加ください。

開催日：令和元年11月9日(土) 開催場所：宮城大学大和キャンパス 講堂
(注)今年も大学祭とは別日程になっております。



教員からの一言

北国の春

食産業学群准教授 原田 鉦一郎

「ねえねえ、雪が融けると何になるか知ってる?」「そんなの当たり前じゃない、水でしょう」「違うよ、雪が融けると“春”になるんだよ!」こんなやり取りは北海道育ちの私にとっては、よくわかる話です。北国では、雪は冬の到来を告げ、雪融けは春を運んでくるものです。

さて私の研究対象は永久凍土です。野外調査が中心ですので、北極域などの高緯度地域に行く機会が多いです。夏は太陽が沈まない白夜が続きますが、気温もそれほど高くないために夏至の頃でも海はまだ凍ったままです。ここでは「氷が融けると“夏”になる」か、もしかしたら「秋になる」かもしれませんね。

雪や氷が融ける時期一つとっても、場所によって大きく違います。様々な自然環境が地球上には存在します。学生の皆さんには、国内外のいろいろなところを訪れて、様々な自然環境や人に接して経験値を高めて行って欲しいものです。自然と接するには言葉の壁はありません。自分の目で確かめると印象深くなるでしょう。経験は、その後の様々な決断時にきっと大きな役割を果たすでしょうから、偏らずにバランスよく様々な経験を積むことは大切です。もっとも、私の経験は高緯度地域だけに偏っていますが・・・。



▲「マイナス20度の世界では、まつ毛に霜が付きまします」

編集後記

会報がお手元に届くころ残暑がまだ続いているのか、朝晩涼しいと感じることができているのか。この頃は「エアコンに感謝!」と思う日が続いています。

この季節、後援会役員と事務局では11月の「講演会」の準備を進めているところです。今年は結城登美雄さんをお招きし、大学教員とのパネルディスカッションを行います。そしてコーディネーターの方にもご登場いただきお話を盛り上げていただく予定です。ご案内の準備できましたら、郵送・後援会HPでお知らせいたします。

(Yu)



平成30年度学生表彰

在学中に研究活動、課外活動、社会活動において顕著な成果をおさめた学生に対して、学長賞、学長奨励賞が贈られました。今回は個人10人と3団体が受賞しました。

学長賞

—研究活動において、特に顕著な成果をあげたもの—

● 蟻浪 卓(事業構想学研究科博士前期課程 2年)
情報処理学会第80回全国大会において学生奨励賞及び大会奨励賞を受賞

—社会活動において、特に顕著な成果をあげたもの—

● ファム ティー ゴック ジェップ(食産業学部フードビジネス学科 4年)
「在仙台ベトナム学生青年協会」副会長として宮城県全域のベトナム人留学生の生活支援などに貢献

● 分子調理サークル「Nuevo!!」(任意団体)
仙台ロイヤルパークホテルのシェフパティシエとの競作により「ロールティラミス」を開発

● 井上 陽樹(食産業学部環境システム学科 4年)
あぐりどんと祭実行委員会委員長として平成29年度仙台若者アワード優秀賞を受賞

● 佐藤 遥香(看護学部看護学科 4年)
● 佐藤 健太(事業構想学部事業計画学科 4年)
● 櫻井 祐輔(事業構想学部デザイン情報学科 4年)
● 高田 凜紗(食産業学部ファームビジネス学科 4年)

—学業において、特に顕著な成績を修めたもの—

● 佐藤 遥香(看護学部看護学科 4年)
● 佐藤 健太(事業構想学部事業計画学科 4年)
● 櫻井 祐輔(事業構想学部デザイン情報学科 4年)
● 高田 凜紗(食産業学部ファームビジネス学科 4年)

学長奨励賞

—研究活動において、顕著な成果をあげたもの—

● チームプロジェクト研究 田邊班(任意団体)
イノベーション教育学会第6回年次大会におけるポスターセッションならびにライトニングトークが優秀作品として表彰

—課外活動において、顕著な成果をあげたもの—

● 工藤 利竜(看護学部看護学科 4年)
第32回東北地区学生麻雀選手権大会において個人戦第3位入賞

● チームM3(任意団体)
大学生向けビジネスコンテスト東北大会にて優勝

—社会活動において、顕著な成果をあげたもの—

● 高木 真由(看護学部看護学科 4年)
仙台市主催のいきいき健康づくりキャッチコピーに応募し、最優秀賞を受賞

—その他、表彰に値する行為があったと認められるもの—

● 阿部 由季(事業構想学部事業計画学科 4年)
地方自治体の将来を構想する多くのイベントの運営・企画を実施

大学からのお知らせ

(仮称) デザイン研究棟新設

2019年7月16日、(仮称)デザイン研究棟の建設工事が始まりました。事業構想学群価値創造デザイン学類の研究環境充実を目的とするもので、1997年の開学以来初の新棟建設となります。

位置は大学のメインアプローチである広場を挟んだ交流棟の向かい側です。建物は鉄骨造3階建、建築面積約620㎡、延床面積約1732㎡で、外観はガラスを多用して、明るく地域に開かれた大学をイメージしています。

各階に教員研究室と学生が自主的・能動的に学ぶための「オープンスタディスペース」を配置し、また、実験・実習を行える「デザインラボ」やコンテンツ制作を行う「クリエイティブラボ」を設けます。

(仮称) デザイン研究棟は、2020年度内完成の予定です。

(キャンパス整備委員会)

